



学校だより No. 11

# 日々新たに

尼崎市立日新中学校

令和2年2月28日発行

## ゴールをめざして

3学期も残すところ1ヶ月となりました。「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と言われますが、3学期は他の学期よりも早く過ぎるように感じます。3学期は締めくくりの学期です。生徒達は残された時間の中で、目標達成を目指さなくてはなりません。学級目標、クラブの目標、勉強の目標、そして、日新中学校の校訓、それらは、頭に思い描いただけ、また、紙の上だけの目標であってはならないのです。

ところで、脳の中に人を目標に向かわせる物質が作られることがわかっています。それは、「ドーパミン」という物質です。これは神経伝達物質の一つで、中脳の<sup>ふくそくひがいや</sup>腹側被蓋野という場所で作られ、大脳の奥の<sup>そくざかく</sup>側坐核という神経細胞の集まりに働きます。そうすると、その人にとって良い行動が学習・記憶されて強化されます。つまり、ドーパミンこそが、人を目標に向かわせる「やる気の源」なのです。

このやる気を起こさせる物質を、脳の中で効率よく作り出す方法があるといえます。まず一つ目のポイントは「具体的で、明確な目標を設定する」ことです。ドーパミンは、人が「目標を設定」した時点ですでに脳の中で分泌されていますが、目標が具体的で明確なほど多く分泌されます。さらに、目標を紙に書いていつも目にする所に貼ったり、声に出して唱えたりすると、より効果的だと言われています。

ちなみに、メジャーリーガーだったイチロー選手の小学校の卒業文集には、将来の目標について、1年間の練習日数や友達と遊ぶ時間、プロ野球に入団する時期、入団する球団名、契約金額、一流選手になったらお世話になった人達に招待状を贈ることまで、具体的にこと細かく記されています。

二つ目のポイントは「小さな目標からスタートし、少しずつ発展させる」ことです。その理由は、ドーパミンという物質が脳の中で長く存在できないからです。やる気を持続させるには、絶えずドーパミンを補充してやらなければならないのです。ドーパミンは、少しだけ困難な目標を設定したときや、目標を達成したときに多く分泌されます。ですから、まずは小さな目標を立て、それが達成できたら、次はもう少し難しいことに挑戦しようと、目標値を徐々に上げていくのが最善の方法です。

最後のポイントは「頑張った自分にごほうびをあげる」ということです。再びイチロー選手の話ですが、イチロー選手は何か大きな記録を達成したら、必ず自分へのほうびとして高級腕時計を買ったそうです。ごほうびは、腕時計のような品物である必要はありません。誰かにほめてもらう言葉も大きな効果があります。もし、誰もほめてくれなければ、「僕はなんて偉いんだ！」と自分で自分をほめたり、また、「やった！」とか「よし！」などと、喜びの声をあげたりするだけで、脳はドーパミンを放出するのだそうです。さらに、こんな不思議なことがわかっています。実際にはまだ目標が達成されていないときでも、目標を達成した自分を強く頭の中に想像してみるだけで、脳の中にドーパミンが作り出されるということです。私たちの脳は「現実と想像」の区別ができないからです。

人が目標の達成に向かう上で何よりも大事なことは、あきらめてしまわないこと、そして、今すぐ始めることです。あきらめて何も始めなければ、ドーパミンが作り出されることはありません。生徒達には、上手に脳の中でドーパミンを作り出し、この3学期最後の1日まであきらめず、それぞれの目標達成に向かって頑張ってもらいたいと思います。

校長 宮田 聡

# 尼っ子スピーチフェスティバル



1月30日、尼崎市教育・障害福祉センターで、市内の小中学生がスピーチ力を競う「尼っ子スピーチフェスティバル」が開催され、本校からは、2年2組の堺井ちはるさんが参加しました。

堺井さんは、リハーサルの時は緊張をした面持ちでしたが、本番では自信をもって力を十二分に発揮し、中学生の部優秀賞の3人の中から、見事に尼っ子スピーチフェスティバル賞に輝きました。

堺井さんのスピーチは「私の夢」という題目で、将来小学校の先生になる夢について、影響を与えてくれた小学校の先生や教員である自分の親の姿を織り交ぜ、夢を追い勇気を出して様々なことに挑戦することの大切さを力強く伝えてくれました。

## 新入生学校説明会・部活見学会

2月26日、七松小学校と立花南小学校の6年生を中学校に招待し、生徒会役員が各学期の行事の紹介や生活のルール、委員会活動について説明をしました。その他、生徒会が製作した学校紹介ビデオを観てもらったり、中学校の校歌を歌って紹介したりしました。

最初は緊張気味だった小学生も、質問の時間になるとリラックスした様子で、部活や学校の決まり、どんな先生がいるのかなど、積極的に質問をしていました。



説明の後は、部活動の様子を見学してもらいました。小学生達が、4月に元気に中学校へ入学してくれることを心待ちにしています。



## 3月の主な予定



## ☆ 頑張る日新中生！☆

● 尼崎市中学校バスケットボール大会  
第20回1年生大会 男子の部 準優勝



● 尼崎市中学校新人大会第34回女子新人駅伝競走大会  
第3区 第2位 1-4 中西 且子  
第5区 第3位 2-3 奥山 葵

● 令和元年度尼崎市児童・生徒文化発表会書道展 入選  
1-1 奥 陽菜 1-2 小川 凜 1-2 佐野 心音  
1-2 向 孝汰郎 1-2 山本 陽介 1-2 小山 裕理奈  
1-3 棚橋 絢萌 1-4 森下 芽彩 2-1 具志堅 遥  
2-1 谷口 絢香 2-2 堺井 ちはる 2-3 太田本 果純  
2-3 柏原 涼乃 2-4 松田 駿佑 2-4 村田 和花  
2-4 若宮 向日葵 3-2 井上 咲 3-2 松本 大典  
3-2 西田 光瑠 3-3 宮前 詠 3-3 近藤 明日香  
3-3 小林 加奈 3-3 北地 未来 3-5 森川 日萌

● 第23回尼崎市立小中学校尼っ子スピーチフェスティバル  
フェスティバル賞 2-2 堺井ちはる

## ◎ 新型コロナウイルスに注意 ◎

国内各地で、新型コロナウイルスによる二次感染が多数報告されています。もし、学校で感染者が発生した場合、感染拡大が心配されます。先日、お手紙でお知らせをしましたが、家庭でも感染症対策への取組をお願いいたします。

- 帰宅時や食事前にうがい、手洗いをする！
- マスクを着用する！（咳エチケット）
- 人混みや繁華街への外出を控える！
- 発熱等風邪症状があれば登校せず病院へ！
- 普段から十分な睡眠と栄養価のある食事をとる！



<出席停止となる基準>

- ・ 37.5度以上の発熱が4日以上続く場合
- ・ 新型コロナウイルス感染と診断された場合

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3 臨時休業日	4 臨時休業日	5 臨時休業日	6 臨時休業日	7	8
9 臨時休業日	10 臨時休業日	11 臨時休業日	12 臨時休業日 公立高校学力検査	13 臨時休業日 総合学科実技検査	14	15
16 臨時休業日	17 臨時休業日 第58回卒業証書授与式	18 臨時休業日	19 臨時休業日 公立学力検査合格発表	20 《春分の日》	21	22
23 臨時休業日	24 臨時休業日	25 臨時休業日	26 春季休業日	27 春季休業日 定時制高校再募集 学力検査	28 定時制高校再募集 合格発表	29
30 春季休業日	31 春季休業日					

<4月の主な予定> 4/7(火)：着任式・始業式 4/8(水)：離任式 4/9(木)：入学式 4/10(金)：対面式  
4/13(月)：生徒朝礼、クラブ紹介 4/16(木)：全国学力学習状況調査、1年宿泊学習説明会  
4/20(月)～24(金)：1,2年家庭訪問 4/28(火)・29(水)：1年宿泊学習

## ◎ 学校評価結果 ◎

令和元年度「学校評価」を公表します。「自己評価」は本校の教職員が、「学校関係者評価」は本校の元校長・元教員・元PTA役員等の学校評議員が評価者となります。

「学校関係者評価」では、「自己評価」及び生徒、保護者対象の「学校アンケート」の結果を踏まえた評価と、学校運営に対する意見をいただきました。「学校評価」結果と、学校評議員からの「学校関係者意見」を、来年度の学校運営に生かしたいと思っております。

なお、この「学校評価」については、本校の学校ホームページにも公表しております。

### 1. 学校評価(自己評価)

※ 評価の基準

4:十分達成できた 3:達成できた 2:取り組んでいるが成果が十分でない 1:取組が不十分である

学校教育に関する重点取組	評価
<b>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む</b> (1) 授業改善の取組を促進するとともに、家庭との連携により、学力向上を推進する (2) 特別支援教育の取組を充実させ、自立や社会参加に向けた主体性を育成する (3) 食育を通して生活改善の取組を促進し、望ましい生活習慣を育成する (4) 体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る	3.0
<b>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</b> (1) 基本的な生活習慣確立の取組を促進し、心身共に健全な育成を図る (2) 道徳性育成の取組を促進し、思いやりに満ちた人間関係及び社会とのかかわりづくりに努める (3) 各校のいじめ防止基本方針に基づき、誰もが過ごしやすい学校の環境づくりに努める (4) キャリア教育の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する	3.1
<b>3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校づくりに取り組む</b> (1) 教職員の資質向上の取組を促進し、業務改善を進めながら学校の組織力及び教育水準の向上を図る (2) 地域の教育力を活用した取組を促進し、地域とともにある学校づくりを推進する	3.1
<b>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</b> (1) 安全教育の取組を促進し、登下校及び学校内の安全確保を図る (2) 防災教育の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る	3.1
<b>5 教育目標</b> (1) 教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 教育目標の具現化と指導の充実 <学校教育目標> ・自ら学び、自立するための学力を育てる ・互いを尊重し、社会の中でともに生きる力を育てる ・健やかな体と豊かな心を育てる	2.8
<b>6 研究テーマ</b> (1) 研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 研究テーマの具現化と指導の充実 <研究テーマ> 「仲間とともに生きる力を育む教育をめざす」 ～生徒が主役の授業実践～	3.0

## 2. 学校評価(学校関係者評価)

- ※ 評価の基準      4:よく取り組んでおり、成果が大きい      3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる  
                          2:取り組んでいるが成果が十分でない      1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価
<p><b>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む</b></p> <p>・若手教員を中心とした授業研究や個に応じた学習指導の実践が、学習内容の定着に少しずつ結びついている。            ・各教科の先生が教育・学習内容に熱心に取り組む昨より良くなっているのが大変望ましいと思う。            ・年2回の「AI授業研究会」で成果が上がっているのは良いことだと思う。            ・生徒にチャレンジ学習への参加を促し、学力向上に努めてもらいたい。            ・生徒同士が勉強を教え合う姿を何度か見て、とても良いことだと思った。            ・困ったときに担任や担任外の先生にも相談できる生徒が増えており、信頼感が高まってきている。            ・通級指導はつまずきのある生徒にとって、きっかけをつかむ取組なので、今後も充実させてほしい。            ・教員が減る中で、教員と意思疎通を図れる「課外クラブ活動技術指導者」の活用をのぞむ。</p>	3.2
<p><b>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</b></p> <p>・道徳の授業を全教員が指導するのはよい取組だと思う。            ・道徳について、教員が活発なコミュニケーションを取る中で教材研究を進め、生徒にフィードバックしてもらいたい。            ・道徳教育の充実や生徒の日常生活の課題に向き合うことで、心の育成や集団のつながりを育成している。            ・各学年の講演会や体験活動を実施しているのは良いことなので、これからも頑張ってもらいたい。            ・合唱コンクールで、生徒が優秀賞とアルカイク出場の決意を述べて頑張る姿が見られ良かった。            ・合唱コンクールで、声を出すことの大切さや努力することの大切さを学んだと思う。</p>	3.1
<p><b>3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校づくりに取り組む</b></p> <p>・「ウェルカム授業」や「出前授業」は、中1ギャップの解消につながり、小中連携の意味でも良い取組だと思う。            ・「ウェルカム授業」等は、長期休業中の実施の方が望ましいのではないかと。            ・「たそがれコンサート」は、地域の方も楽しみにしており、学校のアピールにもなるので今後も継続してもらいたい。            ・開かれた学校づくり、特に生徒会が活動の場を地域に広げて、学校と地域の架け橋になっていくことを期待している。            ・「学校だより」と「生徒会通信」を町内会で回覧してもらえるようになって良かった。            ・生徒会役員との「地域交流会」や「地域清掃」等、地域からも参加する生徒会の取組を益々発展させてもらいたい。            ・生徒は登下校時に、地域の方にもよく挨拶をしてくれる。</p>	3.3
<p><b>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</b></p> <p>・SNSに関わるトラブルが中学生に多いので、今後も具体的な例をあげた「情報モラル講演会」を実施してもらいたい。            ・自転車等の交通安全のみならず、防災、SNS等、生徒の生活にまつわる内容について、多角的に取り組んでいる。            ・色々な活動を実施し地域交流が進んでいるので、PTAの方々にもっと参加してもらってもいいのではないかと。            ・阪神淡路大震災の時には、体育館に避難させてもらった。今後予測される災害についても防災教育をお願いしたい。            ・生徒の「非行化防止ポスターコンクール」の最優秀賞の受賞が良かったと思う。</p>	3.1
<p><b>5 教育目標</b></p> <p>・教育の三本柱「知」「徳」「体」を、日新的味を大切に、これからも生徒、学校、地域に発信してもらいたい。            ・校訓を掲示するだけでなく、授業の始まりなどの時間に「自主・協調・明朗」を声に出して言うてみてはどうか。            ・「校訓」や「めざす生徒像」について、折に触れて指導していると思う。            ・教育目標は生徒から遠い存在だが、様々な教育活動が教育目標に結びついており、ある程度達成できていると思う。</p>	3.0
<p><b>6 研究テーマ</b></p> <p>・1年間の個々の取組を全体としてまとめる中で、次年度への飛躍を期待している。            ・生徒を集中させ、授業内容をしっかり把握し、生徒同士で教え合える授業ができるのが望ましいと思う。            ・テーマに基づいて、よく研究が進められていると思う。            ・「新学習システム」による小人数授業は、理解度を深めるのに大きく寄与しており、より効果的な運用をのぞむ。            ・研究テーマの実践に向けて、研究授業や教師間の交流を通じて授業改善が進むことを期待する。</p>	3.0

評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)	評価
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B